

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		桜が丘図書館事業費 [桜が丘図書館の運営]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央図書館		課	桜が丘図書館			係	課長名	浴 靖子		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 2			
【施策名】 生涯学習の充実							総合計画書 (ページ)	35			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市の人口 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	・知的好奇心が刺激され、教養が育成される。 ・読書により生活を楽しめる。				ア. 蔵書冊数 イ. おはなし会参加者数 ウ. 貸出冊数 →						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	ア. 新刊書、リクエスト等があった本を購入した。 イ. レファレンス(資料案内) ウ. おはなし会 エ. 図書展示				ア. 図書購入冊数 イ. レファレンス件数 ウ. おはなし会開催回数 エ. 図書展開催回数 →						
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績		当該年度		成果目標		
	成果指標		②の数値	ア:冊 イ:人 ウ:冊	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標		
3 経費	目標		②の目標値	目標値設定の考え方							
	活動指標		③の数値	ア:冊 イ:件 ウ:回 エ:回	ア. 2,474 イ. 3,582 ウ. 43 エ. 46	ア. 2,571 イ. 3,582 ウ. 38 エ. 35	ア. 2,431 イ. 2,288 ウ. 12 エ. 38				
	事業費(実績)		円	6,764,342	6,948,376	6,420,464	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	4,324,611	4,614,893	4,390,519					
特定財源(国・都・他)		円	2,439,731	2,333,483	2,029,945						
(うち受益者負担)		円									
所要人数(再任用以外)		人	2.0	2.0	2.0						
所要人数(再任用)		人									
職員人件費(再任用以外)		円	16,488,000	16,620,000	16,760,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	23,252,342	23,568,376	23,180,464						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成5 年度										
	(2) 環境の変化 平成5年7月 桜が丘図書館開館。市の南西部における図書館活動の拠点として事業を開始。 桜が丘及び近隣の立野、上北台地区に大規模マンション・住宅の建設が行われ人口が増加した。 また、立川市、東村山市及び武蔵村山市の住民に対して、相互利用協定に基づきサービスを開始した。										

事業名称	桜が丘図書館事業費 [桜が丘図書館の運営]			
担当部署・課長名	中央図書館	課	桜が丘図書館	係 課長名 浴 靖子

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

- 開館日、開館時間の拡充について
- 図書資料や施設管理の衛生面の改善について
- 図書館の基本計画について／図書館についてのビジョンを示すべきである。
- 新しい図書館システムが使いづらくなった。
- コロナ禍での図書館サービスについて

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☒ 取り組んだ
☐ 取り組まない

取組手法：③⑦ボランティアの方に、おはなし会での本の読み聞かせ等を引き続き依頼した。

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

ボランティアにお任せするのではなく、職員自身もスキルアップする必要がある。

7
課題

(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

①利用者の貸出動向・リクエストの状況を把握し、魅力ある蔵書構成にする必要がある。

②最新の社会状況等を踏まえた情報収集と、職員のスキルアップが必要

③ポスター掲出以外のPRの方法

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

①利用者の貸出動向・リクエストの状況を把握し、魅力ある蔵書構成にする必要がある。

②最新の社会状況等を踏まえた情報収集と、職員自身もスキルアップする必要がある。

③市内3館だけでなく、他の部署・組織との連携について検討する。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名：生涯学習の充実

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

①窓口（カウンター業務）やおはなし会等の催しでの利用者とのふれあいを大切にするとともに、事業のPRを積極的に行っていく。

②展示コーナー等を有効に使い、新着図書を含めた図書の紹介をしていく。

③職場内外での研修に参加し、図書に関する専門的な知識の向上を図る。

④蔵書スペースの拡大については、施設改修が必要である。

⑤東大和市立図書館3館で、さまざまな情報を共有して運営に当たる。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等